

令和8年度福祉・介護職員等処遇改善加算について

「福祉・介護職員等処遇改善加算」の概要

平成23年度まで実施した福祉・介護人材の処遇改善事業における助成金による賃金改善の効果を継続させるため、平成24年度の障害福祉サービス等報酬改定において福祉・介護職員処遇改善加算を創設し、その後も累次の改定により加算率等の充実を図ってきたことに加え、令和元年10月には、福祉・介護職員等特定処遇改善加算を創設し、令和4年10月には、福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算を創設した。

令和6年6月の介護報酬改定においては、これらの加算を1本化し、福祉・介護職員等処遇改善加算を創設した。

令和8年度障害福祉サービス等報酬改定においては、障害福祉分野の職員の他職種と遜色のない処遇改善に向けて、令和9年度障害福祉サービス等報酬改定を待たずに期中改定を実施し、福祉介護職員等処遇改善加算の対象の障害福祉従事者への拡大や、生産性向上や協働化に取り組む事業者に対する上乗せの加算区分の創設に加え、これまでの処遇改善加算の対象外であった、計画相談支援、障害児相談支援及び地域相談支援に福祉・介護職員等処遇改善加算を創設することとなった。

加算の取得状況

事業所名	福祉・介護処遇改善加算
訪問介護事業所あおば	Ⅱ



職場環境等要件を満たすために実施した取組項目及びその具体的な取組内容
職場環境要件について、賃金以外の処遇改善に関する取組内容は次のとおりです。

職場環境等区分	職場環境等内容	当法人としての取組
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中年年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	無資格者を育成していく為、入職後資格取得支援
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主権等による職業魅力向上の取組の実施	年2回の町内会のシティーグリーンへの参加及び、通学路なので、子供の見守り及び挨拶。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する略痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	資格取得を積極的に応援する為、資格取得費用の一部を支援する。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連携	資格取得により、資格給を増やせる仕組み
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	子育て・親の介護等職員の私生活に合わせられる様に、1週間ごとのシフトを組んでいる。また、非常勤職員から常勤職員への転換を奨励
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制度により、業務の風人化の解消、業務分配の偏りの解消を行っている	利用者様お一人に対して担当者を複数にし、職員の突然の休みにも対応できる体制づくりをしている。
腰痛を含む心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	杏愛会グループの高橋医院のナースと事務員とでハラスメント担当
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	・年次健康診断・ストレスチェックを実施。 ・職員休憩室の設置
生産性向上のための業務改善の取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している。	週1回のミーティングで現場の課題や問題点の報告及び解決策の話し合い
	5S活動（業務管理の手法の1つ整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	・日頃の生活より身に付く事や教育により身に付く事があるので、柔軟な形で接遇教育を入社時に行い、折に触れ、ミーティング時に再度接遇教育を取り入れている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担軽減	・報告書の統一。 ・新入職員が利用者様台帳を見ても情報が把握できる様にしている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	・毎週金曜日13時から院長を交え、管理者・サ責を中心に、ミーティングを行い、利用者様の情報共有や研修会等の職員の為の教育や仕事上での悩み相談等を行っている。
	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	
	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	